

日本社会分析学会 ニュースレター

2022年4号[2022年11月25日発行]

発行：日本社会分析学会事務局  
〒753-8511 山口市吉田1677-1  
山口大学人文学部 桑畑研究室内  
編集責任者：桑畑 洋一郎(事務局長)

Tel:083-933-5242(直通)  
E-mail: [sasa@jsasa.org](mailto:sasa@jsasa.org)  
ホームページ: <http://jsasa.org/>  
郵便振替口座:01740-0-49579  
(名義)日本社会分析学会

※第144回例会プログラムをお届けします。

●第144回研究例会のご案内

歓迎の言葉

益田 仁(中村学園大学)

第144回研究例会を中村学園大学でお引き受けすることになりました。例会の記録をひも解いてみたところ、2011年夏に本学において例会が開催されていましたので、数えること実に11年ぶりの開催となるようです。前回開催時は坂本喜久雄会員はご退職されており、佐々木美智子元会員が在職しておられた頃かと思いますが、現在は井上智史会員(短期大学部)、益田(教育学部)、持松志帆会員(流通科学部)の3名です。いずれも11年前には在職しておりませんでしたので、世代交代をした11年間だったのかもしれませんが。

ところで本学には4000有余名の学生が在籍しておりますが、約半数が福岡県内出身の学生で、残りの半数のうち約8割が九州各県出身の学生です。大学の所在する城南区別府は天神まで地下鉄で9分と立地が大変恵まれており、そうした魅力もあつてのことかもしれません。本学学生の卒業後の進路は栄養系・教育保育系・ビジネス系とおおきく3つに分かれており、九州各地からやってきた学生のうち、Uターン就職をする学生もいますが(その就職決定率の高さが本学のウリのひとつです)、福岡市に残る選択をする学生もおります。福岡一極集中と呼ばれるように、人口の増加数も率も全国でトップクラスの福岡市ですが、その内実は首都圏に対しては人を送り出す一方で、その3倍ほどの数を九州・沖縄各地から引き寄せる構造となっています。これは九州各地の人口減少の裏返しなのでしょうが、福岡市を流出を加速させる都市とみるのか、はたまた福岡市が防波堤となっているとみるのか(一種のダム効果、学生曰く「だってちょっと足を伸ばせば実家に帰れるちょうどいい距離ですもん」)、学生の進路選択とその理由を聞きながら、ぼんやりと考えをめぐらせています。

12月の福岡はイルミネーションに照らされている頃だろうと思います。博多駅前広場と天神ふれあい広場では、いつのまにか冬の風物詩となったクリスマスマーケットが開催されており、寒さを吹き飛ばすかのような賑わいがあります。

師走の慌ただしい時期かと思いますが、会員の皆様と活気ある街の片隅でお会いできることを楽しみにしております。

★ 第 144 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程:2020年12月17日(土)~18日(日)

会場:中村学園大学(福岡市城南区別府5丁目7-1)

2806教室

※持ち時間は**30分**(報告20分質疑10分)です。対面の場合、レジュメや資料は30部程度ご準備ください。会場では報告にてプロジェクターが使えます。Zoomに対応できるPCを各自ご持参ください。

※例会会場での対面とオンライン配信を組み合わせで行います。ただし当日、配信に十分な通信環境とならない可能性があることもご了解ください。なお、今後のCOVID-19の感染拡大状況次第では例会開催方法の変更等が生じる可能性もございます。事務局からの連絡にご注意ください。

※報告者の方は、オンライン配信時に共有可能な資料についてもご準備ください(形式はwordでもPDFでもpptでも、一般的なものであれば構いません。事前に事務局と打ち合わせをさせていただきます)。

12月17日(土)

※対面開催+オンライン配信です。オンライン配信はzoomで行いますので、参加される方は各自ご準備をお願いいたします。

※配信URLは<https://us06web.zoom.us/j/88086573349>です。(2日間共通)



開 会 14:00(会場:2806教室)

報告部会I (14:00~17:10)

- 1.「不可視化されるソーシャルワーカー～医療機関におけるアクターとして」(s) 橘 直子(九州大学大学院)
- 2.「結婚をめぐる若者女性の葛藤—中国都市部女性に着目して」(s) 易 朗韻(九州大学大学院)
- 3.「中国における出稼ぎ女性労働者の実態調査—中国広西省農村出身20～30代の7人の女性に対するインタビューを通じて」(s) 唐 麗敏(九州大学大学院)

休憩(10分)

- 4.「行動制限は日本の自殺をどのように変えたか」(s) 江頭 大蔵(広島大学)
- 5.「日本におけるムスリム墓地の展開—高麗寺国際霊園の事例を中心に」(s) 吉田 全宏(大阪公立大学)
- 6.「地域社会学の基底におくべき概念は何か? : 集団(オルムステッドほか)、生活構造(鈴木広、三浦典子)、聚落社会(鈴木榮太郎)などの概念をめぐって」(s) 山本 努(神戸学院大学)

※新型コロナウイルス感染状況を考慮して、懇親会は公式には開催しないこととなりました。ご了承ください。

12月18日(日)

※対面開催+オンライン配信です。オンライン配信はzoomで行いますので、参加される方は各自ご準備をお願いいたします。

※配信URLは<https://us06web.zoom.us/j/88086573349>です。(2日間共通)



報告部会II (10:00~11:30)(会場:2806教室)

- 1.「博士課程修了者が企業で働くということ」(s) 桑畑 洋一郎(山口大学)
- 2.「消防団研究序説—わたしの経験から」(s) 益田 仁(中村学園大学)
- 3.「コロナ禍と社会ネットワーク」(s) 三隅 一人(九州大学)

閉 会 11:30

開催校までの交通案内



## キャンパスマップ



### ◆会員異動(届出順、敬称略)

入会

張 佳成

所属：九州大学大学院人間環境学府

Mail：hbhszhangjc@gmail.com

研究分野：地域社会学

黒川 すみれ

所属：福岡県立大学人間社会学部

Mail：kurokawa@fukuoka-pu.ac.jp

研究分野：家族社会学

大貫 挙学

所属：佛教大学社会学部

Mail：VYN01562@nifty.com

研究分野：ジェンダー論、社会学理論

041